

令和3年度 吉川市立旭小学校 学校公開用

この学校評価は、学校の現状やこれまでの努力とその結果を公表し、家庭・地域にお知らせするとともに、今後の取り組みに向けて家庭・地域の理解や連携協力をお願いするものです。

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての 評価の説明及び学校の考え	学校関係 者評価	評価に対する学校の説明・考察
1	学校教育目標の実現のため、様々な取り組みに努めている。	A	「時を守り、場を清め、礼を尽くす・凡事徹底」を合言葉とし、目標達成に向けて6つの重点課題を設定、周知の上、活動の充実に努めている。今後も職員が当事者意識をもち目標達成に向けた取り組みを継続、推進するよう努めていく。	A	「時を守り、場を清め、礼を尽くす・凡事徹底」を合言葉とし、全教職員が当事者意識をもち学校教育目標の実現に取り組んでいる。次年度も、感染症対策に努めながら工夫した取り組みをしていく。
2	学校は、児童生徒の学習環境の整備に努めている。	A	タブレットやデジタル教科書等、積極的にICTを活用した授業を展開し、視覚や聴覚を活用した分ける授業を実施している。トイレの改修工事も実施し、清潔で快適な環境で学習、生活を送れるよう設備の維持、管理に努めていく。	A	トイレの改修工事により、きれいな環境が整い喜んでいる。授業やオンライン授業でタブレットを上手に活用して学習している。今後も、ICTを有効に活用しながら児童に学ぶ喜びを味わわせていく。
3	校長を中心として、全職員が協力して児童生徒のために努力している。	A	校長の経営方針を一人一人が理解し、報告・連絡・相談・確認・記録を徹底している。職員が自分の役割を果たすとともに、情報を共有し、職員が丸一となってキーワード「よい子」の育成のために努力を継続していく。	A	昨年度より一層協力し合っているように見える。先生方がいつも明るくて良い。コロナ禍の中、学校の対応が素早く、安心して学校生活を送れている。今後も職員が丸一となって、児童の教育に取り組んでいく。
4	学校は、保護者や地域に学校行事や授業を公開している。	A	感染症拡大防止に努めつつ、授業参観や学校公開、音楽鑑賞会を公開し、改めて保護者、地域の方の協力や理解を得て、子どもの成長と共に喜ぶことの大切さを認識した。今後も社会情勢や感染状況を注視しつつ公開していく。	A	中止になった行事もあるが、工夫して計画したり、できる範囲で実施してくれている。コロナ禍で制限はあるが、安全面に十分留意しつつ、できることに工夫して取り組んでいきたい。
5	学校は、学校の様子や成果を「学校だより・学年だより」等を活用し、情報提供している。	A	経営方針や日々の教育活動、子どもの様子について情報提供した。特に感染症対策への学校の取り組みを周知し、協力を得るよう努めた。また、ホームページの定期的更新やメールの適宜配信により、多くの方々への情報提供に継続して努めていく。	A	学校だよりやHP、アプリ配信をおとして、学校の教育方針や学習・行事での児童の活躍の様子を情報発信しており、安心して子供を通わせることができる。今後も継続して積極的に情報発信していきたい。
6	学校は、保護者や地域からの相談や要望に応えている。	A	報告・連絡・相談・確認・記録の徹底により、保護者からの相談や要望を管理職と職員がいち早く共有し、誠実をもって早期対応に努めた。誠意をもち子どもに寄り添った対応を続けることで、保護者との信頼関係が高まってきていることから、一層の早期発見、早期対応に努めていく。	A	要望を出す前に、保護者の気持ちになり、常に先を考えてくれている。自治会、保護者と連携して、子供たちのためによりより学校づくりをしている。今後も、学校・家庭・地域の連携を大切にして、教育活動の充実を図りたい。
7	児童生徒は、落ち着いて学習に取り組む、学習内容を理解しようとしている。	A	「時を守り、場を清め、礼を尽くす・凡事徹底」を合言葉に全職員が子どもが落ち着いて学習に取り組める指導や学習環境づくりに努めた。また、「校長賞テスト」の実施により、学習意欲の向上と学習内容の定着を図っており、継続して学力向上に努めていく。	A	授業を見させていただいた時、子供たちが起立し、椅子をしまつてから意見を発表している姿から、学習規律がしっかりと身についていると感じる。先生方も熱意をもって指導している。次年度も、教員が一人一人ができる、分ける授業づくりを研究していく。
8	学校は、教材や指導方法を工夫し、児童生徒にわかりやすい授業を心がけている。	A	研究授業を年3回実施し、全職員で発問や教材教具の工夫・改善、ICTの活用について模擬授業も実施して研究し、日々のわかりやすい授業の実践に向けて指導力向上に努めている。個に応じた指導についても継続して研究に取り組んでいく。	A	子供たちの学習意欲を育てるために、先生方がわかりやすく指導し、子供たちは楽しく学んでいる。デジタルテレビの画面が反射して見えづらいため意欲が低下するので注意が必要。今後も、ICTのより有効な活用や環境整備に努めていく。
9	学校は、児童生徒の行動や能力を適切に評価している。	A	評価規準や重点課題の視点に基づき、児童一人一人のよさを認め、伸ばす評価を実施している。小規模校の強みを生かし、一人一人への声掛けや、複数の教員の視点で児童を多面的に見て適切な評価に努めている。	A	授業を見させていただき、子供たちは規律ある態度で勉強に取り組んでおり、先生方も熱心に指導されている。今後も、評価規準や重点課題の視点に基づき、小規模校の強みを生かし児童一人一人のよさを認め、褒めて伸ばす評価を実施していく。
10	児童生徒は、進んであいさつをしたり正しい言葉づかいをしたりすることができる。	A	コロナ禍により発声や制約される中、あいさつの仕方や声の大きさに留意しつつ、あいさつ運動や生活目標達成に向けた取り組みを実施した。自分から進んであいさつできる児童を増やすためには、日々の指導と合わせてコロナ禍でのあいさつの仕方について確認する必要がある。日々の指導の共有と徹底に努めていく。	A	子供たちは校内やその他の場所でもすれ違う際に気持ちのよいあいさつをしてくれている。言葉遣いも丁寧な児童が多い。コロナ禍による大きな声の制限を考慮しつつ、状況を見ながら地域の方と接する機会を生かし、自然にあいさつが交わされるように指導していく。
11	児童生徒は、学習のルールや生活の決まりを守ることができる。	A	教職員の日々の指導や家庭の協力により、背筋を伸ばして姿勢良く学習に取り組む、拳手して考えを発表するなど、学習のルールが身に付いている児童が多い。月々の生活目標を意識して行動できる児童も多く、決まりを守ろうという気持ちが高まっている。個に応じた指導も継続し規範意識を一層高めるよう努めていく。	A	多くの児童が通学班で安全に一列で登校できているが、中には学年関係なくおしやべりやふざけ合いをしてしまい、列を乱す児童がいる。安全な登下校の仕方について指導の徹底を図っていく。
12	児童生徒は、時間を守ることができる。	A	「時を守る」を合言葉に指導を重ねることで、授業の開始時間には、ほとんどの児童が席に着き、落ち着いた雰囲気です学習を開始することができる。朝のスポーツタイムやオンライン放送での全校朝会も、開始時刻には全校児童が余裕をもって準備に参加している。さらなる徹底を図るため、全職員での取り組みを一層高めていく。	A	ほとんどの児童が時間どおりに登校でき、授業や清掃の開始時刻も守れている。今後も「時を守る」を合言葉にこのよさを維持していきたい。
13	学校は、規範意識を高めるための指導に取り組んでいる。	A	生徒指導部を中心に、月々の生活目標の達成に向けて、発達段階を考慮した具体的、継続的な指導により、規範意識が高まっている。無言清掃や廊下歩行のさらなる目標達成に向け、全職員による共通理解・共通指導を重視し、指導の徹底を図っていく。	A	授業の参加の仕方、下駄箱の靴のかかとそろえがしっかりと身についている。今後も、「時を守り、場を清め、礼を尽くす・凡事徹底」の達成に向け、全職員による共通理解・共通指導を重視し、指導の徹底を図っていく。
14	児童生徒は、体育の授業や部活動又は外遊びに意欲的に取り組んでいる。	A	コロナ禍で活動が制限される中、感染症対策と安全の配慮を十分行いつつ、3分間なわとびや新体力テストで課題となっている投力や柔軟性を高める動きを授業に取り入れ、できる喜びや運動する楽しさを味わえる指導や場づくりに努めた。状況を注視しつつ活動内容の工夫に努めていく。	A	体育の授業だけでなく、屋休みなど先生も一緒に遊んで遊んでくれている。コロナ禍ではあるが、児童数が少ないので、もう少し外での行動を自由にしてもいいのではないかと。今後、状況を考慮しつつ、教育活動の再開を目指していく。
15	児童生徒が、健康な生活を送れるよう食育に取り組んでいる。	A	無理がないように配慮しつつ給食完食週間を実施し、バランスのとれた食事をする習慣を身に付けさせ、健康の保持増進を図った。学校給食センターの見学や学校栄養職員への派遣により、給食に含まれる栄養や調理の工夫、給食に携わる方の愛情を学び、食育への関心を高めている。	A	家庭での運動を奨励する「元気カード」で親子で生活習慣を見直し、健康に気を付けて生活を送れるようになった。食食週間の取り組みも良い。今後も、感染症対策をしっかりと行い、健康な心と体を育みたい。
16	学校は、児童生徒の健康・安全や体力向上に向けた取り組みを行っている。	A	感染症拡大防止のための体調チェックや換気、消毒作業の徹底、また老朽化した道具の撤去やトイレの改修による安心・安全な環境づくりに努めた。体力向上に向け、授業やスポーツタイムの充実や体力アップカードを活用した運動に継続して取り組んでいく。	A	老朽化した道具の撤去やトイレの改修により安心・安全な環境が整っている。感染症拡大防止の体調チェックや換気・消毒作業の徹底、体力向上に向けた授業や体力アップカードの活用をおとして、健康維持や体力向上に取り組んでいく。
17	学校は、児童生徒の立場に立ち、一人一人の思いや願いを大切にしている。	A	日々の学習や生活の様子や会話をよく観察し、児童の頑張りを積極的に誉めるように職員で共通理解・共通指導を図り、やる気を高める指導・支援を心掛けている。保護者からの思いや願いについても、担任と管理職が情報を共有して早期対応を行い、児童一人一人が楽しく安心して学校に通える学校づくりに努めている。	A	日々の学習や生活の様子や会話をよく観察し、児童の頑張りを積極的に誉めてくれるので、児童がやる気を高めている。保護者からの思いや願いについても、丁寧に早期対応を行い安心して学校に通わせられる。今後も、児童を大切にした指導を行っている。
18	学校は、いじめや不登校をなくすため、児童生徒への指導の充実を図っている。	A	生徒指導・教育相談部会を開催し、全職員がいじめや不登校につながる発言や行動を見逃さないよう努め、未然防止のための共通理解、共通行動に取り組んでいる。報告・連絡・相談・確認・記録の徹底により、管理職を含めた職員が家庭や関係機関と連携し早期対応・解決に努めている。	A	児童の間でトラブルがあった際は、加害者・被害者双方の話を丁寧に聞き、親身になって対応している。いじめの再発防止に努めていると思う。今後も全職員がいじめや不登校につながる発言や行動を見逃さないよう努め、未然防止のための共通理解、共通行動に取り組んでいく。